

PICK UP

美しい竹林を楽しんで守りませんか！

NPO 法人 竹の学校 理事長 稲岡利春

長岡京の美しい財産の竹林（タケノコ畠）に魅せられて、前身の「竹林友の会」、2007年にNPO法人「竹の学校」を設立した先輩たちと共に自然環境問題と京タケノコの伝統栽培と竹文化の創造目的に活動してきました。

具体的には竹林の景観を守る放置竹林の整備とタケノコの京都式軟化栽培法を実践し、乙訓の伝統農業を継承、里山の復活を目指します。

美しく明るくなった竹林ではシイタケ栽培や花壇づくりも展開していますし、タラの芽も増えています。さらに水資源の涵養にもつながっています。

竹と共存する竹林整備は終わりがない維持活動になります。会員の高齢化に伴い作業が負担になってきています。男性はようやく団塊世代が少し増加しつつありますが、子育てを終えた元気な女性が増え、里山（竹林）の「食」を楽しんでいる姿を見ると、男性たちを尻目に「竹の女学校」を予感させます。

竹の学校は自主的に活動目標を立てて実践する、竹林整備が主目的の実践活動団体です。コロナ禍で最近は中止も多いですが、タケノコ掘りの受け入れや竹林内での流しソーメン、おにぎりや豚汁パーティ等も復活していきます。

楽しみながら、長岡京市の美しい竹林を守りませんか！



4/22
金
5/27
金
6/24
金

協働勉強会

日時 4月 22 日（金）午後 6 時～ 8 時
場所 バンビオ

参加費 無料

講師 新川達郎先生（同志社大学名誉教授）

問合せ サポセン TE L075-963-5505

4/3
日
5/3
火

勝龍寺ほてい市

日時 4月 3 日（日）10 時～ 15 時

日時 5月 3 日（水）10 時～ 15 時

場所 勝龍寺境内

主催 neoseed

問合せ neoseed888@gmail.com

雨天決行

〒617-0833

長岡京市神足 2 丁目 3 番 1 号 バンビオ 1 番館 1 階

長岡京市市民活動サポートセンター

指定管理者（一社）市民活動ネット・チーム長岡京

tel 075-963-5505 fax 075-963-5523

事務局受付時間 平日 9:00~18:00

土日祝 10:00~15:00

かしこ暮らしちく



MAIL shiminkatsudou-sc@bamboo.jp

HP http://www.bamboo.jp/nijit/

FB http://www.facebook.com/bamboo.jp/



Flat-Ne

No.9
2022.4.1

フラットね ながサポ

フラットな仲間との出会いが待っている。ふらっと「ながサポ」に行ってみよう！



Do you need money?

ぶっちゃけボランティア団体の
お金事情ってどうなん？

助成金とかいろいろあるらしいで。

詳しくは中面に！→



ぜひお気軽にサポートセンターへお越しください

☎075-963-5505

発行 長岡京市市民活動サポートセンター
指定管理者（一社）市民活動ネット・チーム長岡京

補助金・助成金

実際に助成金を活用している団体にインタビュー



NPO 法人京おとくに・街おこしネットワーク 代表 中山秀亞



長岡京 share cafe 運営委員会 代表 干場志都恵

活動に資金が必要になったきっかけは？

中山：非営利市民活動団体が社会貢献活動をするには、単に話し合いだけでは資金もいらないとは思いますが、何か行動するとなればたちまち資金が必要です。どの団体も資金調達が最大の課題ですね。特に組織化されていない立ち上げの時はなおさら必要ですがどうしたらいいのかわからないから前に進まないですね。

干場：やりたい市民活動には支出が伴いました。でもお金の問題でやりたい市民活動ができないのが嫌で、考えた結果公共の助成金に応募しました。

公的補助金・交付金、民間助成金それぞれのメリット・デメリットを教えてください。

中山：公的補助金は基準に則って申請すれば100%に近い状況で認められるから、安心です。ただ承認される時期が市の場合は7月頃、府に至っては10月中旬になりますから年初からの活動は間にあいません。市・府共に課題はあるでしょうが1ヶ月でも前倒しで承認する努力を望みたいですね。さらに補助金・交付金は後払いですから翌年の5月頃の支給になります。その間資金は立て替えなければなりませんから、皆さん困っているのです。

民間の助成金は、通常は前年の3月末までには決定されますから、4月から承認内容の事業は実施可能です。又民間によっては助成金全額を前払いするところや、半分前払いするところもあり、行政の資金よりはるかに使いやすいと思います。ただしっかりと団体を組織化しないと認定は難しくなります。(定款や規約の設定、会員名簿、役員名簿等の設置、一次審査、二次ヒアリング等)で助成先が絞られることになります。

干場：公的補助金のメリットは、活動の信用度が高まることです。また、報告会などで他の団体の活動を知る機会があることですね。デメリットは心のハードルですかね。面倒臭いかも、書類が難しいかも、とか考えて足踏みしてしまうところだと思います。あと、使いみちを限定されるところもあり、それがデメリットかと。民間助成金はまだ申請したことがありません。数が多くてマッチングする助成金を探すのに時間がかかりそうですが、申請を検討しています。

助成金・補助金をいただいてどう活用できた？
成果はありましたか？

中山：市の活動応援補助金や、府の交付金は活動立ち上げの初期のころには大変役立ちます。規定に則って申請すれば、ほとんどが認められると思いますよ。この資金の活用で活動が前進できれば、活動の地盤が固まりますから。一般的な団体はこの資金を活用してきたと思いますよ。3年間にわたって応援してくれますから、団体の活動にはありがたいです。この期間にどのように活動を発展させていくかをよく考えて前に進めてほしいですね

干場：助成金での継続的な支援のおかげで潤滑に市民活動が行えました。成果としては、長く続けることで地域の問題解決に貢献できているという実感と、その問題そのものを周知できたと思っています。

最後にみなさんへアドバイスを。

中山：まずはサポートセンターにお越しいただき、専門の知識を持った職員とザックバランに相談いただき、その話し合いから、どの資金供給先を選ぶかを選定してはいかがでしょうか。サポートセンター会員にはいろんな民間助成金を獲得した団体が数多く存在していますから、まずはサポートセンターに足運びですね。

干場：前向きな志があってもお金が原因で挫折することがないように、助成金や補助金を利用して、理想の社会に近づけていきますように！そのためにもサポートセンターにぜひご相談くださいね。

補助金・助成金って
思っているより難しくないかも。
右ページに補助金・助成金情報があるよ



助成金・補助金情報



長岡市市民活動応援補助金

【市民提案型協働事業コース】

令和4年4月1日（金曜日）から5月20日（金曜日）まで

【市民協働スタートアップコース】

第1期：令和4年4月1日（金曜日）から5月20日（金曜日）まで

第2期：秋募集予定（予算残額などにより募集しない場合があります）

【小学校区コミュニティ活動応援コース】

令和4年4月1日（金曜日）から10月31日（月曜日）まで

<問合せ>長岡市市民活動サポートセンター 075-963-5505



京都府地域交響プロジェクト

【重点課題対応プログラム及び基盤強化プログラム】

令和4年4月1日（金曜日）～6月30日（木曜日）

【地域協働モデル推進プログラム】令和4年4月1日（金曜日）～

令和5年2月28日（火）

<問合せ>長岡市自治振興室 075-955-3164

地域活動団体への助成「生活学校助成」

締切 4/30（土）

<対象>

- ①身近な地域や暮らしの課題解決に取り組む地域活動団体
- ②全国の生活学校が連携して行う全国運動に参加する意向のある地域活動団体

<助成金>

- ①生活学校への参加 6万円
(初年度3万円、2年目3万円)
- ②全国運動への参加 上限5万円
(現在のテーマは「食を通じた子どもの居場所づくり」)

<問合せ> <http://www.ashita.or.jp/sg2.htm>

2022年度ニッセイ財団高齢社会助成「地域福祉チャレンジ活動助成」

締切 5/31（火）

<対象>

- ①助成テーマにチャレンジする意欲がある団体
- ②他の団体・機関、住民組織と協働で活躍する団体（活動の運営組織の構成員に申請団体以外のメンバーが参加していること）

<助成金>

1団体最大400万円（1年最大200万円）

<問合せ> <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

資金調達についてのお話

市民活動やボランティア活動に資金調達？という
と何かものものしい感じがしますね。

なぜ、資金調達が必要なのでしょうか？

皆様は現在、いろいろな社会課題や理想的な社会の姿をめざすための活動をされていると思います。

その活動をより多くの方に共感をしてもらいその解決の為の参加を促進して「社会をより良くしていく」という活動をかなえる手段のひとつとして「資金の活用」をどのようにしていくか仲間で話し合うことはとても重要です。

また資金調達は事業や組織の運営の向上にはとても重要な役割を果たしてくれます。

活動の資金源には、寄付金、会費、助成金・補助金、事業収入、融資の5つがあります。それぞれに特色がありますがその資金を現状の団体の活動にどのように活用していくかそれを整理することから始めてみましょう。

活動を進めるなかで①どのタイミングでお金が必要か、②それが本当に必要で活用できるものであるのか、③その結果どのような成果が期待できるか。

資金調達を考えることは団体の今を見直す大きなきっかけになりその資金を活用することで次の活動へのステップにつなげることができます。

団体が成長する為には「組織・事業・財源」という3つの要素がお互いに効果的に影響しあうことで「より良い相乗効果」が生まれることが必要です。そのための手段として活動に必要な「資金の循環」をどのようにまわしていくかを団体の皆様と一緒に考えてはいかがでしょうか？

「資金調達は志金調達！（より良い活動のこころざしをかたちにするお金）にいたします！」

これからは皆様といっしょに資金調達の活用について一緒に考えていくべきと思っています。次号よりちょっとしたヒントをお伝えしたいと思います。

サポセンでは助成金・補助金・交付金・寄付等のご相談を伺っていますのでお気軽にお問合せください。

認定NPO法人日本ファンドレイジング協会
準認定ファンドレイザー 加納久美子

※ファンドレイザーとは活動に必要な財源を獲得する人であると同時に、社会に対して、解決しようとする社会的課題の理解を広げ、関係者の輪を広げていく存在である。「NPOと社会との間のパイプライン」とも言われる。